

極大値と極小値の和・差【類題2】

a は0ではない実数とする。関数

$$f(x) = (3x^2 - 4) \left(x - a + \frac{1}{a} \right)$$

の極大値と極小値の差が最小となる a の値を求めよ。

< '98 東京大 >

【戦略】

定数部分が複雑である意味はありません。

展開するにせよ、汚い形のまま展開するのはイヤなので、 $-a + \frac{1}{a} = b$

とゴム手袋をつけて

$$f(x) = (3x^2 - 4)(x + b)$$

として進めていきます。

極大値と極小値の差については、【類題1】の【解2】で紹介した

定積分として見る

という路線で処理します。

【解答】

$$-a + \frac{1}{a} = b \text{ とおくと, } f(x) = (3x^2 - 4)(x + b) = 3x^3 + 3bx^2 - 4x - 4b$$

$$f'(x) = 9x^2 + 6bx - 4$$

$f'(x) = 0$ の判別式を D とすると、 $\frac{D}{4} = 9b^2 + 36$ で、実数 b の値に関わらず、 $\frac{D}{4} > 0$

よって、 $f'(x) = 0$ は異なる2つの実数解 α, β ($\alpha < \beta$) をもつ。

x	...	α	...	β	...
$f'(x)$	-	0	+	0	-
$f(x)$	↗	極大	↘	極小	↗

極大値と極小値の差は $f(\alpha) - f(\beta)$ である。

$$\begin{aligned} f(\alpha) - f(\beta) &= \left[f(x) \right]_{\beta}^{\alpha} \\ &= \int_{\beta}^{\alpha} f'(x) dx \\ &= - \int_{\alpha}^{\beta} (9x^2 - 6bx - 4) dx \\ &= - \int_{\alpha}^{\beta} 9(x - \alpha)(x - \beta) dx \\ &= -9 \left\{ -\frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3 \right\} \\ &= \frac{3}{2} \{ (\beta - \alpha)^2 \}^{\frac{3}{2}} \\ &= \frac{3}{2} \{ (\alpha + \beta)^2 - 4\alpha\beta \}^{\frac{3}{2}} \end{aligned}$$

解と係数の関係から、 $\begin{cases} \alpha + \beta = -\frac{2}{3}b \\ \alpha\beta = -\frac{4}{9} \end{cases}$ であり、

$$f(\alpha) - f(\beta) = \frac{3}{2} \left\{ \frac{4}{9}b^2 + \frac{16}{9} \right\}^{\frac{3}{2}}$$

よって、 $f(\alpha) - f(\beta)$ は $b = 0$ のときに最小となる。

このとき、 $-a + \frac{1}{a} = 0$ であり、 $a^2 = 1$

ゆえに、求める a の値は $a = \pm 1$ … 答

【総括】

$-a + \frac{1}{a}$ のまま計算を進めるのは得策ではありません。

「汚物に直接触れない」ということは本問に限らず重要な工夫の一つです。

定積分と見る工夫が試験場で飛んでしまった場合は

$$\begin{aligned} f(\alpha) - f(\beta) &= 3(\alpha^3 - \beta^3) + 3b(\alpha^2 - \beta^2) - 4(\alpha - \beta) \\ &= 3(\alpha - \beta)(\alpha^2 + \alpha\beta + \beta^2) + 3b(\alpha - \beta)(\alpha + \beta) - 4(\alpha - \beta) \\ &= (\alpha - \beta) \{ 3(\alpha^2 + \alpha\beta + \beta^2) + 3b(\alpha + \beta) - 4 \} \\ &= (\alpha - \beta) \{ 3 \{ (\alpha + \beta)^2 - \alpha\beta \} + 3b(\alpha + \beta) - 4 \} \\ &= (\alpha - \beta) \left\{ 3 \left\{ \frac{4}{9}b^2 + \frac{4}{9} \right\} + 3b \left(-\frac{2}{3}b \right) - 4 \right\} \\ &= (\alpha - \beta) \left\{ -\frac{2}{3}b^2 - \frac{8}{3} \right\} \\ &= \frac{2}{3}(\beta - \alpha)(b^2 + 4) \\ &= \frac{2}{3}\sqrt{(\beta - \alpha)^2}(b^2 + 4) \\ &= \frac{2}{3}\sqrt{(\alpha + \beta)^2 - 4\alpha\beta}(b^2 + 4) \\ &= \frac{2}{3}\sqrt{\frac{4}{9}(b^2 + 4)}(b^2 + 4) \\ &= \frac{4}{9}(b^2 + 4)^{\frac{3}{2}} \end{aligned}$$

と、対称式や交代式の工夫で真正面からぶつかることになります。

やってできなくはありませんね。

ただ、 $b = -a + \frac{1}{a}$ というゴム手袋をつけていなかったらと思うとゾッとします。